

文学と橋

橋は文学の舞台に

上方文化の担い手であった近松門左衛門は、作品の中で橋を効果的に描き、当時の橋の姿を知る貴重な資料となっています。

川端康成も、住吉大社の反橋を題材にした小説「反橋」を発表するなど、橋は文学作品の舞台にもなっています。

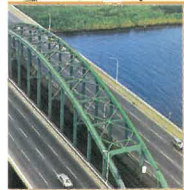


住吉大社の反橋

川端康成

反橋（住吉区）

上るよりも
おろる方が
こはいものです



04 新淀川大橋



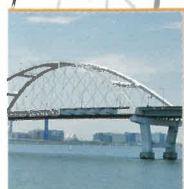
05 十三大橋



07 淀川大橋



08 伝法大橋



10 神崎川橋



11 雪鯨橋

祭りと橋

橋は祭りの一等棧敷

春は花見、夏は納涼、秋は月見、冬は雪見と、古くから人々は橋に集い、憩いの場、賑わいの場として利用されてきました。

現在でも、祭やイベントの際には多くの人で賑わい、昔と変わらない熱気に満ちあふれています。



橋にまつわる祭りやイベント

船乗り込み

時期：6月末～7月初旬
場所：中之島～道頓堀川

歌舞伎興行の際、役者が船に乗って御披露目をしながらか来場を呼びかける伝統行事です。道頓堀川や東横堀川に架かる橋から、轟鳳の歌舞伎役者に声援を送ることができます。



船乗り込み

天神祭

時期：7月25日（船渡御）
場所：中之島・大川周辺

京都「祇園祭」、東京「神田祭」と並ぶ日本三大祭りのひとつです。千年の歴史を誇る水上の祭典。天神橋・天満橋・桜宮橋など多くの橋が、船渡御や花火見物の一等棧敷となります。



天神祭のにぎわい

なにわ淀川花火大会

時期：8月初旬
場所：淀川河川敷

平成元年に、地域住民の手作りで誕生した花火大会です。現在は「なにわ淀川花火大会」と名称を改め、夏の夜空を2万発の花火で埋め尽くします。十三大橋周辺の河川敷が会場となります。



夜空に上がる花火

OSAKA光のルネサンス

時期：12月
場所：中之島界限

平成15年から開催され、今や冬の風物詩となった光のフェスティバル。期間中には100万人を超える人々が訪れます。中之島の橋もライトアップされ、イルミネーションの見物席にもなっています。



光のルネサンス

橋の役割

橋を下から見上げると

橋は人や車を対岸に渡すだけではなく。水道・ガス・電力・電話線などのライフラインも通し、都市機能を支えています。



梅檀木橋と水上バス



天神橋を見上げると

船で橋をくぐるときには、橋の裏側を見上げてみてください。



Naniwa 808 Bridges

つるのはし

歴史に登場する
日本最古の橋が大阪に！

歴史に登場する日本最古の橋の記述は、日本書紀に「猪甘津に橋為す即ちその處を號けて小橋と曰ふ」と記されたのが最初とされています。

この小橋が存在した「猪甘津」は生野区付近と想定され、周辺には「猪飼野」「小橋」という地名が残り、猪甘津の橋跡と伝えられる「つるのはし跡」の石碑や由来碑が建てられています。



「つるのはし跡」の石碑

大阪の橋 ～いまむかし～

まちの歴史は橋とともに

古代・中世の橋

大阪の橋の歴史は、仁徳期の古墳時代までさかのぼることができます。

以後、奈良・平安・鎌倉・戦国期と橋は歴史書や伝説にたびたび登場しますが、多くは謎に包まれています。



仁徳期の大阪（5世紀頃）

近世の橋

豊臣秀吉の大阪城築城とともに、東西両横堀川が開削され、さらに江戸時代に入り道頓堀川が開削されると、数多くの橋が架けられ、「浪華八百八橋」と謳われるようになりました。



浪速天満祭 大阪府立中之島図書館蔵

近代の橋

明治維新とともに西洋文明が流入し、木橋から鉄橋への転換が始まりました。

大正から昭和にかけ、市電の発達や第一次都市計画事業によって、その優美な姿を現代に伝える名橋が次々と建設されました。



高麗橋（大阪初の鉄橋 明治3年）



浪花繁栄東堀鉄橋図 大阪府立中之島図書館蔵

現代の橋

戦後、モータリゼーションの発達と橋梁技術の進展を背景に、淀川・大和川やベイエリアでは最先端の技術を駆使した長大橋が建設されました。

近年、代表的な橋の顕彰やライトアップをはじめとした修景整備なども行われてきています。



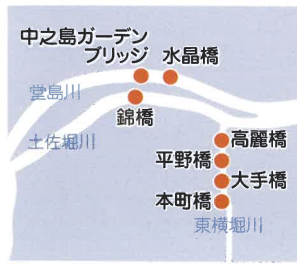
なみはや大橋・港大橋 ベイエリア

橋 洗い

橋は市民の貴重な財産

大阪の橋は、市民と地域にとって貴重な財産です。

地域の方々が主体となった清掃活動などにより、橋は人々から愛され美しい姿を保つとともに、まちの賑わいや活性化につながっています。



これまでに実施した橋梁



中之島ガーデンブリッジの橋洗い

公儀橋と町橋

公儀橋と町橋

江戸時代、橋は交通の要となり幕府が直轄管理して擬宝珠を付けた「公儀橋」と、有力商人や近隣の町々が管理する「町橋」に分けられました。大阪には「公儀橋」が12橋と江戸に比べて非常に少なく、大半は「町橋」でした。



高麗橋 大阪府立中之島図書館蔵



高麗橋の擬宝珠

このことから、大阪は「町人の経済力の豊かさ」、江戸は「幕府のお膝元で軍事的重要性」と、都市としての性格の違いが見うけられます。



築地蟹島（今橋） 大阪府立中之島図書館蔵

デザインコンペ

道頓堀川の水辺遊歩道整備を進めると共に、戒橋と浮庭橋の建設にあたっては、広く一般の方々からデザインを募るデザインコンペが実施されました。

戒橋

市民が望む橋のアンケートを実施した後、デザインコンペを実施し、橋上広場の劇場性とバリアフリーの両立がなされたデザインが採用されました。



戒橋 最優秀作品

浮庭橋

“浮かぶはらっぱ”をイメージした、緑豊かなデザインが採用されました。あわせて橋名も一般公募し、デザインコンセプトをうまく表現した名前に決められました。



浮庭橋 最優秀作品

顕彰碑

橋の由来をもとめて

歴史や文化、市民生活と関わりの深い橋には、橋のたもとに由来などを記した顕彰碑を設置しています。

橋を通して大阪の歴史を振り返ることで、橋と人との関わりを再確認することもできます。

このマップを手に、橋めぐり・橋あるきをされてはいかがでしょうか。

難波橋



江戸時代の錦絵や明治時代の写真が飾られ、当時の様子をうかがうことができます。

木津川橋



江戸時代から現代までの橋の変遷が錦絵と共に記され、歴史をさかのぼることができます。